

A 1 7 中級 (実習あり)	<h2 style="margin: 0;">開発現場の知財力UP講座</h2> <p style="margin: 0;">自社製品の課題を見つめ、創造を形にするには？ 有利な事業展開を進めるための開発&知財連携</p>	
講 師	弁理士 宮澤 亘 (メーカー 元開発部門 マネージャー)	
日程・場所	東京会場 2021年1月14日(木)～15日(金)	
時 間	2日間(10:00～16:00) // 昼休憩 11:45～12:45	
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access.html	
定 員	24名(先着順申し込み)	
受講料(税別)	30,000円	
対 象	研究開発部門管理職、知的財産部門の実務者	
内 容		
<p>事業現場では、市場ニーズと自社技術のミスマッチ、事業と知財のミスマッチ、魅力的な商品の源泉となる発明が創出されないといった課題がよく聞かれます。</p> <p>本講座では、上記課題へのアプローチとして、自社コア技術の評価・分析・管理、自社知財ロードマップ(コア技術の具体化・可視化)、知財活用型経営、新規事業展開検討、知財情報活用マーケティングについて解説します。研究開発・商品企画・知財部門等を対象とした事業現場の知財力をUPさせる活動をしている講師による実践的講座です。</p>		
プログラム		
1 日目	2 日目	
1. 開発現場弁理士からみた事業環境と知財 2. 現場知財力評価検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自社コア技術の評価・分析・管理 ・ 自社知財ロードマップ作成(コア技術の具体化・可視化) ・ 知財をフル活用した事業展開・知財活用型経営事例 ・ 自社内部外部環境分析フレームワーク <ul style="list-style-type: none"> ➢ 演習： 自社の現場知財力の評価 ・ 強み・弱み・機会・脅威分析 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 演習： 開発現場コア技術分析(強み・弱み・機会・脅威分析) ➢ 演習： 開発現場の戦略検討(強・弱・機会・脅威分析からの戦略検討) 	3. 開発現場で直面する知財問題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 部門間の見えざる壁の除去(部門間・事業間シナジーの発揮) ・ 現場から発明が出てこない!(発明可視化シートの活用) ・ 特許出願明細書等の現場負担が大きい!(発明者、知財部、事務所との連携プラットフォーム) 4. 新規事業展開検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 知財情報活用マーケティング(将来の顧客ニーズ) ・ 土地勘の無い異分野に進むための検討(新事業展開検討) 	

【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。